

学習発表会実践報告 第1学年

1. 教科 生活

2. 単元名「こうずいにそなえよう」

3. 単元の目標

急な大雨・雷・台風などの激しい自然現象に対して、自分のおかれた状況を判断して、自他の身の安全を守る方法を身に付ける。

4. 防災教育との関わり

自分たちの住む地域の特徴を知り、川の氾濫を意識した急な大雨・雷・台風などの激しい自然現象に対する避難方法を考える。

5. 本時

(1) 目標

急な大雨・雷・台風などの激しい自然現象に対して、自分のおかれた状況を判断して、自他の身の安全を守る方法を身に付ける。

(2) 展開

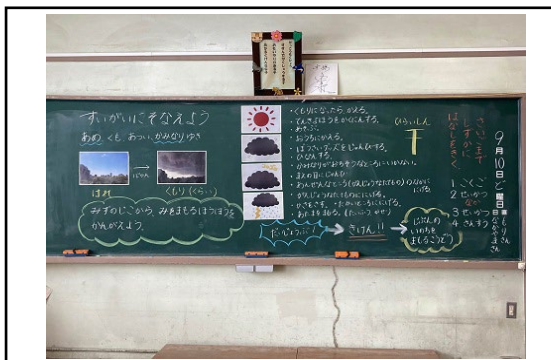
学習活動	指導上の留意点
<p>1 本時のめあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>④おおあめがふったときに、みをまもるほうほうをかんがえよう。</p> </div> <p>大きな雷と大雨に見舞われた日のことを思い出し、個人の体験を共有する。新中川がどのような状態になっていたか想像する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験を振り返ったり、友達の体験を聞いたりすることで、災害を自分の身近なものとして捉えられるようにする。 ・晴れた空の写真（10時）と黒い雲が出た空（11時）の写真を並べ、1時間という短い時間でも天気は急変することを伝える。 ・身を守る行動だけでなく、危険な行動についても考えることができるよう、発問する。 ・「自分は大丈夫」という油断や過信が、大きな事故に繋がるのだということを解できるようにする。
<p>2 大雨が降る前の雲の様子を写真で確認する。</p>	
<p>3 動画を見る。</p> <p>大雨、洪水に見舞われた町の様子や救助の様子などを見る。</p>	
<p>4 洪水から身を守る方法を考える。</p> <p>大雨が降る前、大雨が降ってきた時、雷が鳴っている時、雨が止んだ後など、場面ごと取るべき行動を考える。</p> <p>【降る前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報を見る。 ・雲の様子を見て、家に帰る。 	

<p>【降っている時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川に近づかない。 ・地下へ行かない。 ・洪水が起きそうだったら、高い建物に避難する。 ・丈夫な靴を履いて、避難する。 <p>【雷が鳴っている時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丈夫な建物に避難する。 ・木の近くに行かない。 <p>【雨が止んだ後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・油断しない。 ・川に近づかない。 <p>5 学習のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族で避難方法を共有することが大切だと伝える。マイタイムラインを活用することで、日頃から災害に備えられることを知らせる。
---	---

(3) 評価

- ・天気の変化の様子を見て、自分や家族の身の安全を守ることに気付いている。

6. 授業の実際



直近の雷雨の様子を想起し、大雨が続いた場合にどのようなことが起こるかを考えた。

晴れていても急に天気が悪くなることを知り、自分がどのような行動を取ったらよいかを映像を見たり、話し合ったりすることで、水害から身を守る方法を考えた。



授業後に家族で、マイ・タイムラインを作成

- ・自分が住む地域がどのような場所に位置しているかを理解する手立てとなった。
- ・家族で避難するための準備や方法を考えたことで、水害への意識をもつことができた。

7. 成果

映像を見ることで自分たちの住む地域でも起こりうる災害であることに気づき、自然災害の怖さを知り、どのように備えるべきかを考える手立てとなった。